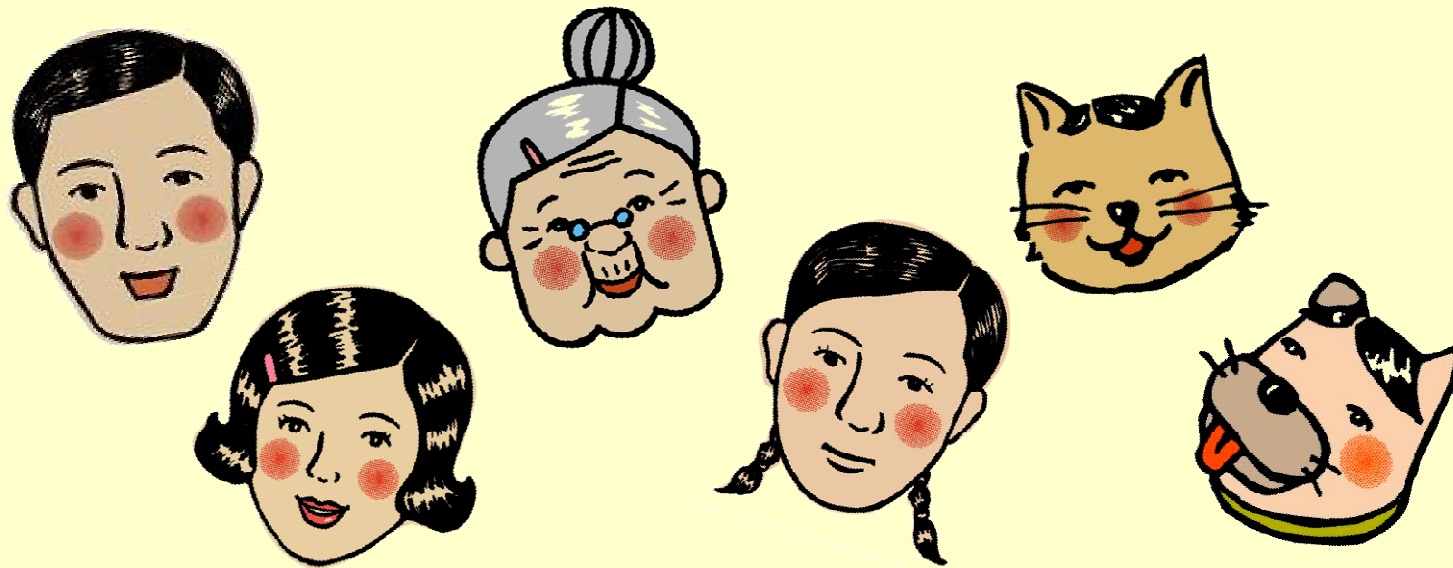


仙台市の取り組み

みんなが進めよう！ 3R



仙台市におけるリユースびんの取り組み

- 昭和48年～
集団資源回収における
リユースびんの回収



- 昭和59年～
缶・びんの行政回収に
おけるリユースびんの
回収・選別



仙台市におけるリユースびんの流れ

集団資源回収

奨励金の交付

行政回収

回収容器
による
混合収集

選別・保管

・種類ごとに選別
(37種)
・専用回収箱による
保管・引渡し

びん商

メーカー
・
蔵元など

市民への啓発・周知

- 集団資源回収

- ・ 集団資源回収のてびきや回覧用リーフレット等の作成・配布による実施団体への支援



- 行政回収

- ・ 冊子「資源とごみの分け方・出し方」の各戸配布や市HP等による情報発信

- ・ クリーン仙台推進員等による地域と連携した分別の推進



資源化センターにおける選別の流れ



資源化センターにおける選別等の状況



搬入



手選別

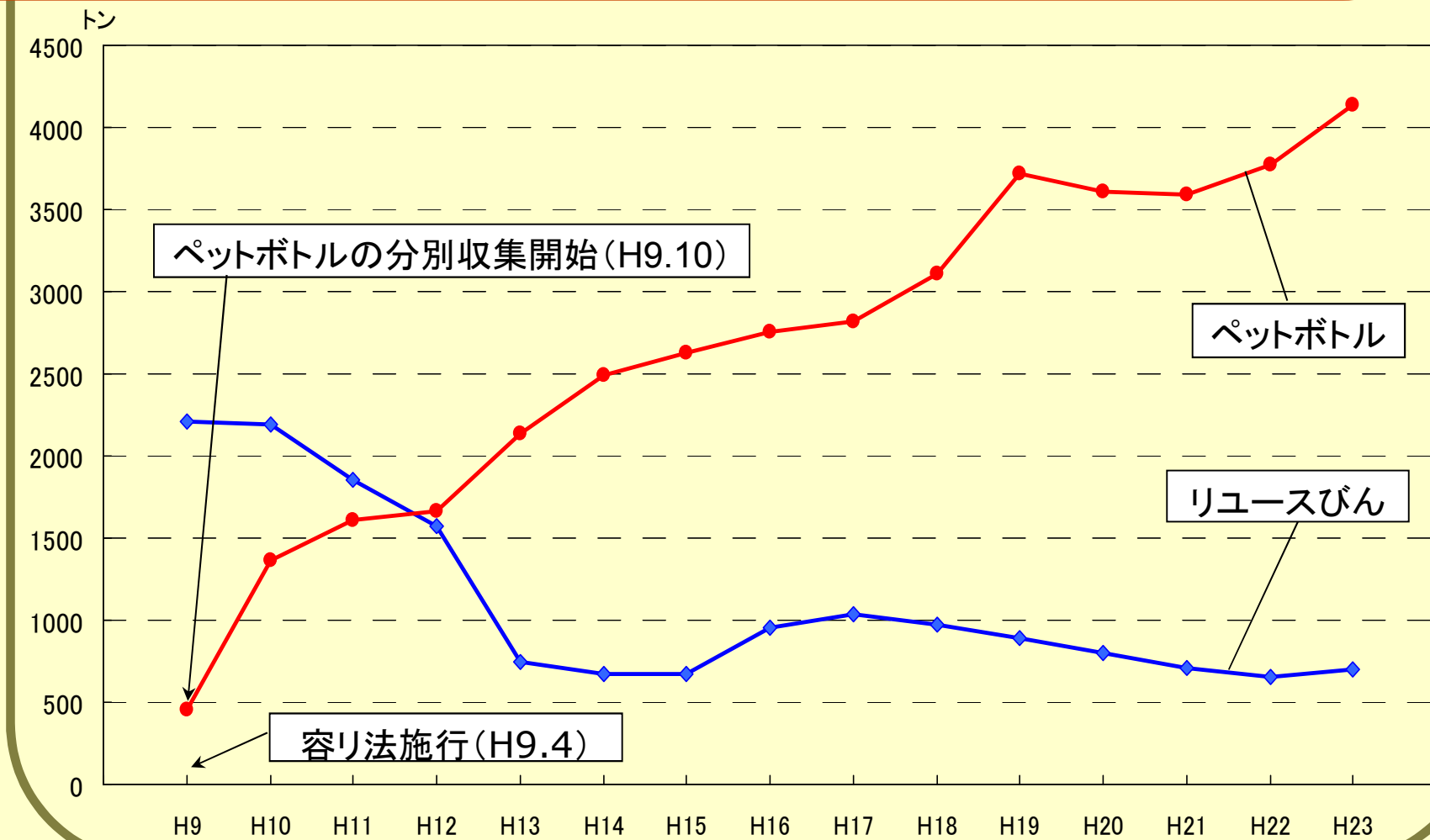


分類・保管



引渡し（売却）

資源化量の推移



リユースびんの現状の問題点

●現状の問題点

容器包装リサイクル法の仕組みにより、自治体が最もコストのかかる収集、選別費用を負担しているため、メーカーがリユースびんを使用するメリットがない。また、リユースびんを使用する義務も責任も負っていない。従って、現状ではメーカーの合理的選択としてペットボトルを採用するのは当然である。

●方向性

ペットボトルをはじめとするワンウェイ容器を含めた枠組みが不可欠

フィンランド	ワンウェイ容器に課徴金(約30円でリターナブル容器は課税免除)をかけて強力的に規制
ドイツ・ノルウェー・スウェーデン	ワンウェイ容器の回収を課税やデポジット方式等により事業者にも義務付け、ないし誘導している
韓国	使い捨て容器、商品の無償提供や使用そのものを禁止

家庭ごみと資源物の処理費用（H23年度）

	処理原価 ※1 (百万円)	処理量 (t)	1t当り処理原価 (円)
家庭ごみ	5,443	199,368	27,300
資源物(紙含む)	2,805	47,694	65,914
ペットボトル		4,137	144,000 ※2

※1 処理原価の算出方法は以下のとおり

①家庭ごみ

収集、焼却、埋立の部門別に人件費、減価償却費、起債利子を計算、集計したもの

②資源物

収集、選別の部門別に人件費、減価償却費、起債利子を計算、集計したもの

※2 ペットボトルについては処理原価ではなく、収集及び選別委託料のみを容積比(約60%)により按分、拠出金を差し引いて処理費用として算出したもの

公益社団法人全国都市清掃会議要望（抜粋）

第2. リサイクル関連法の推進に関する要望

1. 容器包装廃棄物の3Rの円滑な推進について

(1) 容器包装廃棄物の減量と環境負荷の低減を進めるため、3Rを推進する仕組みを全国的に構築すること

○消費者の意識をごみの適正排出へと導くためにも、**デポジット制度を早期導入**すること

○**飲料用容器等の規格化**を進めるなど、製造・販売業者による**リターナブル容器の生産、流通、使用、回収等を促進するシステム**を構築すること

○ガラス製容器のリターナブル、リサイクルを促進するため、**色、形状の規格の統一や識別表示を義務化**すること

○**ワンウェイ容器等の製造・販売や、過剰包装を抑制する法令**を整備すること

公益社団法人全国都市清掃会議要望（抜粋）

（2）関係者の役割分担の見直し

- 容器包装廃棄物の発生抑制に向けて、事業者に対して、**拡大生産者責任**の観点から簡易包装化の推進を指導するとともに、**収集運搬及び圧縮・梱包等の中間処理に係る経費について一定の負担を課すこと**

（3）容器包装廃棄物への識別表示

- 識別マークについては表示箇所の統一やサイズを大きくすること**

平成24年7月